

十勝の豊かな未来をつくる エネルギー革命

自然エネルギー活用へ向けて

北海道は自然エネルギーの宝庫と称され、脱・化石燃料とエネルギーの地産地消により豊かな地域をつくる「エネルギー革命」の適地となっています。再生可能エネルギー固定価格買取制度（FIT）の導入以後は、風力・太陽光などの自然エネルギー電力が増加しました。今後は、北海道のエネルギー消費の多くを占める冷暖房や給湯の熱、バスや鉄道など輸送の分野でも自然エネルギーを活用することが重要となります。世界では、電力・熱・輸送の3分野でエネルギー革命の大きな流れが広がっています。

豊かな自然を活用して、どのようにエネルギー革命を進めていくことができるのか、十勝地域のみなさんで開かれた議論を行いたいと思います。

シンポジウム

- 講演 「自然エネルギーが支える豊かな暮らし」
山形定氏（北海道大学）
- 講演 「エネルギー革命 ～世界のいまと取組事例～」
酒井恭輔氏（㈱エネコープ）
- 報告 「寒さを活かす雪氷冷熱」
木村賢人氏（帯広畜産大学）
- 報告 「鉄道における効率的なエネルギーの利用法」
佐藤馨一氏（北海道大学）

意見交換会

とかちプラザ アトリウム 1階入口 ホール

北海道帯広市西4条南13丁目1番地

入場無料 | 事前申込不要
定員 150名



2019

8.22 木
シンポジウム 14:00-16:00
意見交換会 16:00-16:30

主催 北海道の自然エネルギーに関するシンポジウム実行委員会
後援 北海道、帯広市、生活協同組合コープさっぽろ
問い合わせ 十勝まちづくり研究会 野坂 (0155-37-2729)